



松庵だより

第718号 5月号

令和7年4月30日

杉並区立松庵小学校



「学び続ける力」

副校長

今年も松庵小学校の様々な所にある草木が花や葉を茂らせようとしている姿に生命の力強さを感じます。子どもたちも、新しい先生や友達、学習、環境等の出会いの中、気持ち新たにスタートし一ヶ月が過ぎました。朝の準備や帰りの支度に戸惑うことも減り自分から行う一年生の姿にがんばりを感じるとともに学校全体に活気とやる気を感じます。

話は、変わりますが4月13日から10月13日までの半年間、大阪・関西万博が開かれています。158の国と地域と7つの国際機関が参加しています。SDGsを意識し、テーマは、「いのち輝く未来社会のデザイン」とのことです。テレビやSNS、新聞などで会場の全貌やパビリオンの様子などが紹介されていて、私も行って未来を感じたくなりました。25年後の自分にあえるパビリオンもあるそうです。それとは別に新聞の紹介文を読んでいて、心に響いた記事がありました。「終了後は森になる休憩所」です。やがて、自然にかえる生分解性プラスチックを材料に3Dプリンターでつくられているそうです。記事によると、制作した人たちは、2000年代に開かれた五輪会場の一つが10年後に荒れ果てた姿になっていたと報道で知り、「たった半年間の万博のためにたくさんの建築を作り捨てられることはあってはならない。」との思いで、やがて自然にかえる材料にこだわったそうです。

子どもたちが成人している25年後どのような未来の社会になっているのでしょうか。SDGsは、どれだけ達成できているのでしょうか。私自身、10年、20年前と比べると、多くの新しい職業が生まれ、多様性が認められ、「あれ?思っていた社会と違うなあ。」と感じる場面が多くあります。これからもさらに予想するのは難しいと言われています。何が起こるか分からない時代だからこそ、子どもたちは、変化に対応し続ける力を身に付けてほしいと感じます。将来、現実問題と向き合ったとき、日々の学習で経験した様々な問題解決の方法を生かし、最適な手段と方法を選び、失敗しても次のチャレンジの糧にしながら自分なりに問題解決を続けられるようにしていく力です。本年度も日々の教育活動や授業改善を通して「生涯にわたって能動的に学び続ける力」を育めるように教職員一丸となって取組んでまいります。今後も引き続きご理解・ご協力をお願いします。

たてわり班活動が変わります!

特別活動主任

先日行われた、1年生を迎える会は、代表委員、6年生を中心に会が進行され、とても温かい雰囲気に包まれた、良い会となりました。今年度も、児童が松庵小学校の一員として、たくさんの友達と関わり、より良い学校生活にしていけるような取り組みを行っていきます。

今年度より、たてわり班活動が変わります。昨年度までは、地域班とたてわり班は、同じ児童で構成していました。しかし、リーダーとなる6年生の数に偏りができてしまい、一部の児童に負担がかかっていました。異学年交流が活発化されていなかったりする課題がありました。そこで、今年度より、地域班とたてわり班を分けて考え、各班に均等にそれぞれの学年の児童が所属する、新しいたてわり班を作りました。これで、松庵小学校の異学年交流は、ますます活性化され、学年の垣根を越えた、新しい友達関係も生まれてくるでしょう。今後の活動に、期待しています。